

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや  
ちくさ



題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
会長 尾関武弘  
幹事 伊豫田博明  
会報・雑誌委員長 堀江宏輝

No. 34

意識を喚起し——進んで行動を CREATE AWARENESS TAKE ACTION

2000~2001年度 RI会長 フランクJ・デブリン

きょうの例会  
第896回 平成13年4月9日(月)

6 R C 合同例会  
(東・和合・名東・昭和・東山・千種)  
於：ウェスティンナゴヤキャッスル

先週の記録  
第895回 平成13年4月3日(火) 曇り

◆“君が代” “奉仕の理想”

◆出席報告

会員 69(61)名 出席 47名  
出席率 77.05%  
前々回 3月13日 (修正出席率) 100%

◆ゲスト紹介

緑政土木局 緑地施設課長	森田高尚氏
青少年交換学生	水野茂洋君
桜花学園高等学校 1 A C 顧問	河合保昌氏
桜花学園高等学校 1 A C	長屋好美さん
桜花学園高等学校 1 A C	吉川純加さん

◆今月の会員誕生日

大谷君 (4/1)、池田君 (4/9)、小林君 (4/13)、  
牧野さん (4/15)、和田君 (4/28)

古稀お祝い



13日に70才を迎える小林 明君に会長よりお祝い金と花束が贈られました。

◆青少年交換学生 水野茂洋君 帰国



ブラジルでの留学を終え元気に帰国した水野君。帰国挨拶は次回掲載させて戴きます。

◆ライラセミナー修了証書授与



ライラセミナーに参加した長屋さん、吉川さんに会長より修了証書が手渡されました。お二人からのご挨拶は次回掲載させていただきます。

伊豫田幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので理事役員の方は橋の間にお集まり下さい。
2. 次回例会は4月9日(月)6RC合同例会の為、ウェスティンナゴヤキャッスルにて開催致しますので、10日(火)の例会はございません。
3. 4月26日(木)春季家族会サルティンパンコのチケットを本日、会員お一人でご出席の方にはお渡しいたしました。ご家族でご参加の方はご自宅に郵送させていただきます。

## 尾関会長挨拶

青少年交換学生の水野茂洋さんが一年間のブラジルでの留学を終え元気に帰ってこられました。若い間に視野を広める事は人生にとって大きな糧になると思いますのでこれをバネに益々精進されます様期待する所でもあります。又ライラセミナーの皆さんもご苦労様でした。昨年は我々のホストで開催しましたが、2日間若い人達でディスカッションを交わすことがこれからの皆さんの生活や学業に少しでもお役に立てばと思っております。

さて、4月になりまして、桜の開花も今が盛りであります。街のあちらこちらで花が咲いているのを見るとほのぼのとして春が来たなあと言う実感がわいて来ます。日本では春に花と云えば桜であります。中国では梅であり桃である様です。日本でも古代は梅の花を指していた様ですが、武士の時代になって、パッと咲いてパッと散る美しさから桜の花になった様です。“願くば花のもとにて春死なん……”と詠んだ西行法師の様にこの花に心酔し、その美しさにあこがれをもつ感情が日本人の心を打つのではないかと思います。又この時期は花粉症の季節でもありせつかくの桜の季節なのに、むしろ憂鬱に感じる人も多いのではないのでしょうか。今年はスギ花粉の飛散量が今年の3倍と予想されておりましたし、花粉症にかかっている人は全国で約1300万人にのぼると云われていますので正に国民病とも云えます。桜の花と云いスギ花粉と云い、いづれも植物の春の活動であります。愛されるものもあり、嫌われるものもあり様々であります。

本日は元東山植物園長で緑政土木局の森田高尚様に講演をしていただく事になっております。先生のお話を伺って植物の魅力について勉強したいと思っております。

### ◆講演 “東山植物園の魅力”

緑政土木局 緑地部 緑地施設課長  
(元、東山植物園 園長) 森田 高尚氏  
(紹介 水野(民)君)



東山植物園は、名古屋東部丘陵の一画、緑ゆたかな約260haの東山公園内にあり、昭和12年開園、面積27ha、展示植物数5500種は規模・内容ともに我が国有数です。園内には、熱帯温室や花壇、洋風庭園や日本庭園、バラ園・ハーブ園や自然散策路など様々な施設が整っていて、四季折々いろどりを变えてお客様の訪れを待っています。最近、自然探索やガーデニングがブームで、人それぞれのスタイルで花やみどりを楽しんでいます。

東山植物園には、64年の歴史による奥深い魅力が備わりつつあると思います。昭和12年、森林公園と呼ばれていた東山公園が、動物園といっしょに開園し、その中心施設であり、当時東洋一といわれた温室は今もそのままの姿で、規模ではもっと大きな温室が各地にできましたが、クラシックで美しい姿形で育てられている多様な熱帯植物で変わらぬ人気を保っています。また、昭和31年に移築された合掌造りの家や江戸時代の武家屋敷門を中心とした和風庭園は、50年以上の松やカエデの樹がゆたかに育ち、奥深い庭園美を醸し出しています。

もう一つの魅力は、四季を彩る多様な植物とその豊富な花を駆使したお洒落な花飾りにあると思います。温室内に約3000種類、野外に約2500種類の植物が植えられており、梅、桜、椿、モクレン、ツツジ、バラ、竹・笹、カエデなどの多くの品種やアメリカ産の植物、中国産の植物など年中美しい花や珍しい植物を見ることができます。春のチューリップやパンジー、秋のサルビアなど多彩な草花を駆使した温室前花壇や丘の上のお花畑などで、お洒落な花飾りを鑑賞できます。

また、人それぞれ自分の興味にあった、いろいろなテーマで楽しく学習ができます。植物は昔から人の生活に深くかかわっています。食べ物や薬、生活道具や鑑賞の対象などさまざまであり、人それぞれ植物に対する興味もさまざまです。「お茶」や「お花」を趣味とする人、ガーデニングを楽しむ人、山歩きや自然探索をする人などがそれぞれのスタイルで植物園を楽しんでいます。ハーブガーデンや薬草園といったテーマ展示や万葉の散歩道、也有園(尾張藩の俳人横井也有のボエムガーデン)といった文学的展示、植物会館での企画展などいろいろ学べます。

施設(ハード面)の魅力だけでなく、春や秋を中心に多彩なイベントやサービス(ソフト面)でも魅力を感じていただけるよう努めています。現在、「春まつり」を開催していますが、そのほか、「秋まつり」や「もみじ狩り」、「正月飾り」など、年中いろいろな行事で楽しめます。5万株のチューリップを背景にしたカーニバルや合掌造りの縁側でのお茶会、囲炉裏端の昔話など東山植物園ならではのイベントもあります。また、普段でも200人のガイド(ボランティア)の方が、ご希望の方に同行して詳しく植物や施設のご案内をしています。

植物園は、起伏に富んだ自然林にも恵まれ、歴史性や豊かな自然、面積や施設の規模、栽培展示する植物の種類、観客の数など、どこからみても日本有数の植物園であると自負しています。

◆紙面の都合上、ニコボックスは次回掲載と致します。

### ◆次回例会(4月17日)

講演

“名古屋を拠点とする日本人外国法事務弁護士の活動とその役割”

外国法事務弁護士 山村真理子さん  
(紹介 谷口君)